

## 入居企業紹介 その173

SICに入居されている企業様をご紹介します。

日本初! 画像処理の悩みをワンストップで  
解決する「画処ラボ」とは?

加藤所長

## 【責任者プロフィール】

日本サポートシステム株式会社 技術・生産本部/相模原事業所

所長 加藤 俊介(かとう しゅんすけ)

茨城県出身 藤沢市在住

関東最大級のロボットシステムインテグレーターである日本サポートシステム株式会社。SIC-3 Innovation Lab.に入居している相模原事業所が主体となり、本年3月、日本初の画像処理に特化した検証施設「画処ラボ」をSIC-2 R&D Lab.に開所しました。

所長である加藤さんは、大手電気機器メーカーの公式パートナー会社の立ち上げに携わるなど、長年にわたり画像処理の分野で活躍してきました。同社には昨年10月より参画し、相模原事業所長として画処ラボの運営を担っています。

## 【事業紹介】

ロボットを含む自動化システムの導入に際しては、その「目」となる画像処理の役割が重要です。しかしながら、これまではカメラメーカーなどの机上検証通りにシステムを導入しても、実際には検査結果が安定しないなど、画像処理で苦悩する企業が少なくありませんでした。

そこで画処ラボでは、機器やプログラムの選定・装置化の検証・設計・製造などにワンストップで対応し、現場での実装を見据えた手厚いサポートを提供しています。また、30社以上のメーカーと提携しており、特定のメーカーに囚われることなく、様々なカメラやレンズ、照明などの機器やソフトウェアから最適な組み合わせを選定・提案しています。そして、装置導入後も、万が一のトラブル時において初期対応の迅速化や影響の最小化を図るため、遠隔サポートシステムを開発・導入し、万全のサポート体制を構築しています。画処ラボは、同じSICの入居企業であるレボックス株式会社(SIC-3)と共同運営を行っており、同社のラインカメラ検証システムが提供されています。

また、エクスレイ・システムズ株式会社(SIC-1)からはハンディ型のX線照射機が提供されるなど、他の入居企業との連携も特徴的です。

開所から早4か月。ラボには続々と相談が寄せられており、検証依頼のサンプル部品も数多く届いています。相談者は多岐にわたっており、ユーザー企業はもちろんのこと、商社や機器メーカーからの問い合わせも多いそうです。また、検証するサンプルの種類やサイズも様々。これらの多様な検証依頼に対応できるのは、幅広い提携ネットワークと経験豊富なエンジニアの存在があるからこそ。加藤さんをはじめとしたエンジニアの皆さんは、案件ごとに現場の検査環境を具体的にイメージしながら、最適な機器・システムの選定・提案を行うべく、仕事に邁進しています。

## 【今後の目標】

すでに東京都港区新橋や栃木県小山市の拠点内にも、同様の画処ラボを展開。今後はタイの拠点にも新設する計画があるなど、積極的な事業展開を目指しています。

また、同社は7社が集まるエンジニア集団「Team Cross FA」の一員でもあります。それぞれの強みを活かしながら、グループが一丸となって、工場のスマートファクトリー化など、日本の製造業を変える取り組みを進めています。

## 【取材を通して】

小中学生時代は剣道に打ち込んできた加藤さん。現在は、ゲームからロードバイクまで多趣味な一面も。また、意外にも文系出身で、大学時代には英語の勉強に励み、ロンドンに留学した経験もあるそうです。

光学系に特化したエンジニアを目指す学生が出てくるほど、画像処理業界の認知度を上げていきたいと語る加藤さん。常に冷静沈着でありながら、熱い想いも胸に秘め、日々企業が抱える画像処理の課題解決に尽力しています。(SIC 樽川)



画処ラボのメンバー



中2階スペースにはカメラなどの機器が並ぶ

日本サポートシステム株式会社 画処ラボ  
SIC-2 R&D Lab. 2314号室  
URL <https://gasho-labo.jp/>



## 入居企業トピックス

6月の新聞掲載記事紹介（6月26日時点）

新聞紙上に掲載された企業をご紹介します。  
ご紹介する記事はSIC1と2に掲示していますので、ご覧ください。

- 6月11日 高瀬総合法律事務所 かながわ経済新聞  
—価格交渉の余地はあります—
- 6月12日 R o n k ジャパン株式会社 神奈川新聞  
—ビジネスウェブ  
感染症対策にもなるデジタルワイヤレスガイドシステム—
- 6月24日 株式会社クフウシャ 福島民報  
—業務用掃除ロボット 南相馬市役所で実証試験—



## SIC空室情報

（令和2年7月1日現在）

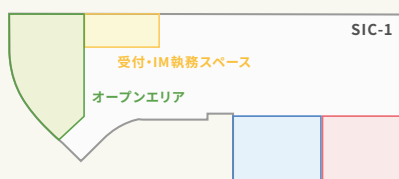
※お気軽に稲垣・大谷までお問合せください

|                        | 部 屋             | 空 室 数 | 賃料/月額<br>(共益費込・消費税抜き) |
|------------------------|-----------------|-------|-----------------------|
| SIC-1<br>Startup Lab.  | ○ラボA (94.5㎡)    | 1 ※1  | 246,600円              |
|                        | ○セミラボA (47.3㎡)  | 2     | 140,600円              |
| SIC-2<br>Creation Lab. | ○オフィス (50.2㎡)   | 2     | 172,700円              |
| SIC-2<br>R&D Lab.      | ○マルチラボ (63.18㎡) | 1 ※2  | 250,200円              |

※1令和2年9月から入居可能 ※2令和2年10月から入居可能

## Desk10 リニューアルオープン

SIC B1はステーションサービス



プランニングエリアクラフトエリア



オープンエリア



プランニングエリア



クラフトエリア

7月1日より、Desk10がStartup Lab.3階から1階(旧 SICスタッフ事務所)に移転します。

今年の4月からDesk10会員の皆様にはプレオープンし、ご利用いただいていたましたが、7月からはSIC内の入居企業様もご利用可能なサービス(月額利用料:2,500円 税別)となります。

今後、ファシリティも充実させ、順次ご案内いたします。

また、ものづくりスペースとしてFab10も新規オープンし、こちらでもDesk10と同じ料金で入居企業様にご利用いただけます。

Fab10は作業台のある塗装コンクリートの床で、工具などを持ち

込んで軽作業が可能なクラフトエリアと、作業に集中できるタイルカーペットのプランニングエリアを設置しました。

Desk10のリニューアルとFab10のオープンには「スタートアップ企業と入居企業や地域企業の交流促進」の狙いがあります。様々な出会いやつながりを求め、2つの施設の統合プロジェクト名を「EN-Garage」としました。ガレージを拠点にして、ここを利用する方々の様々な「縁(EN)」を紡いでいける場所として、これからいろいろな「仕掛け」を盛り込んでいきます。

(片山 内線2025)

## キッチンラボで飲食営業が始まりました！

昨年9月、R&D Lab.の竣工と同時に入居企業様の食事の場所としてご利用いただいていたキッチンラボで飲食サービスが始まりました。サービス運営は5月にSIC内でお弁当を販売した株式会社セラム・グループです。同社はSICが行う「飲食店の創業検討者向け支援メニュー」の策定にご協力いただいている企業です。

今は飲食のメニューや営業時間、お店の雰囲気づくりを試行中です。お気づきの点などありましたらSICスタッフにお声がけください。



SELAM GROUP LTD.

※キッチンラボでは、飲食店の開業を目指す方の利用も募集していきます。

## SIC 経営塾

塾生募集中

SIC経営塾を9月5日に開講します。

|      |                      |
|------|----------------------|
| 対象   | 経営者または経営幹部           |
| 開催日時 | 2020年9月～2021年3月 全10回 |
| 会場   | さがみはら産業創造センター        |
| 受講料  | 180,000円 (税抜き)       |

※詳しくはSICホームページをご確認ください。

## 編集後記

今夏も猛暑となりそうです。本来ならオリンピックが今月下旬から始まる予定でしたが、あいにく延期となっています。昨年急きょマラソン等を札幌で実施予定とするなど、年々都市部の暑さは厳しくなっています。マスク着用の場合は特にこまめに水分をとり、無理をせず、感染症とともに熱中症にも気をつけましょう。(佐藤)

★ご意見・ご感想をお待ちしています。 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ:<https://www.sic-sagami-hara.jp>  
発行元:株式会社さがみはら産業創造センター(SIC) 〒252-0131 相模原市緑区西橋本 5-4-21 E-mail:koho@sic-sagami-hara.jp